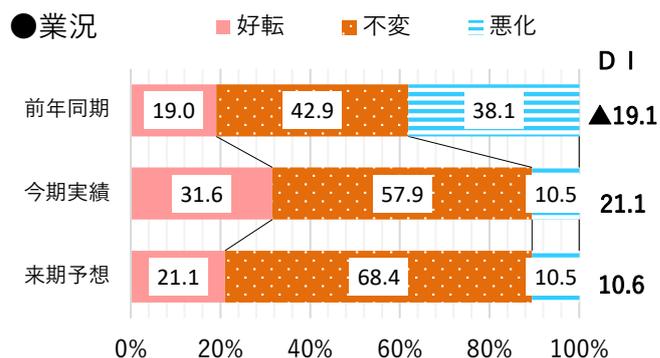


卸 売 業

業況、売上、採算

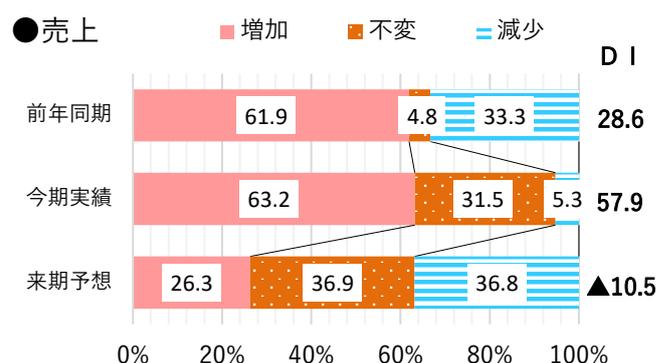
今期(2023.10~12)の業況判断DIは21.1で、前年同期(2022.10~12)と比べ40.2ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期(2024.1~3)は、業況の好転傾向が弱まると予想しています。



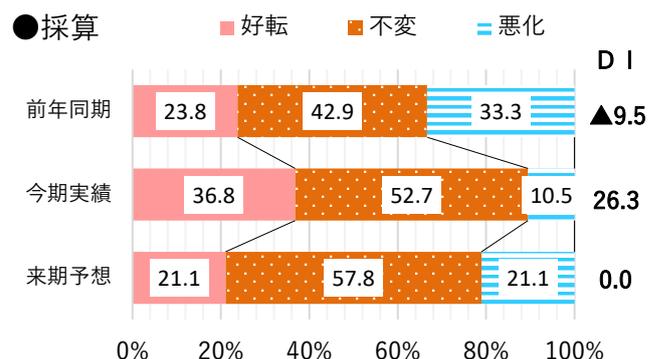
今期の売上DIは57.9で、前年同期と比べ29.3ポイント上昇しました。

来期は、売上の増加傾向が大幅に弱まり、マイナスに転じると予想しています。

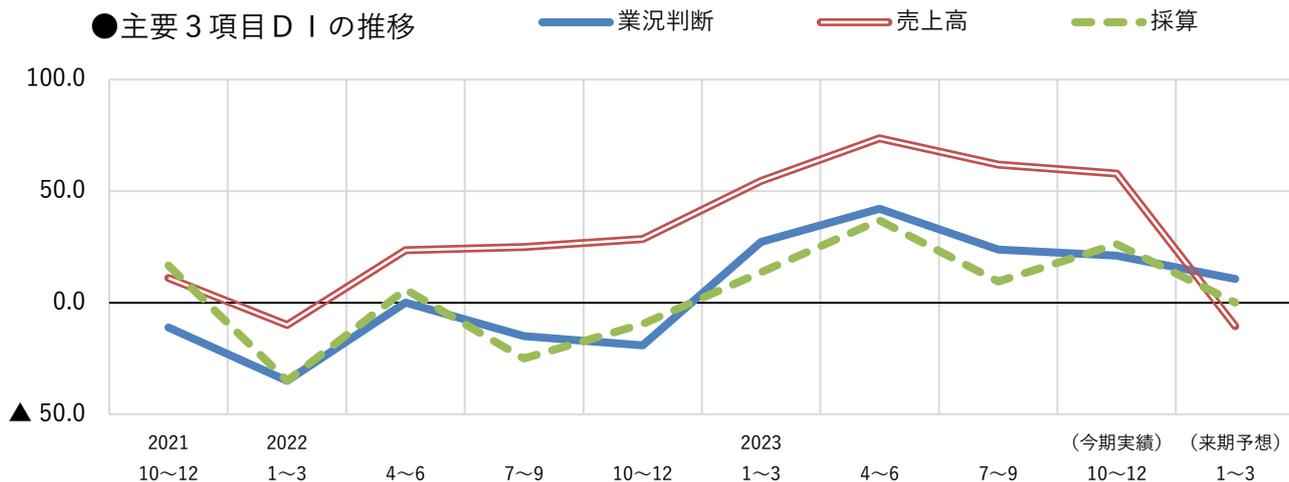


今期の採算DIは26.3で、前年同期と比べ35.8ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、採算の好転傾向が弱まると予想しています。



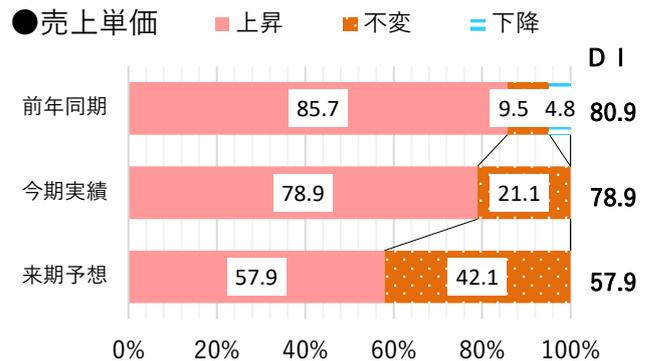
●主要3項目DIの推移



売上単価、商品仕入単価

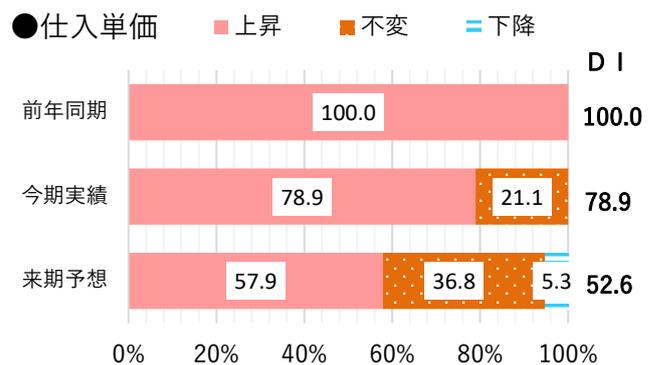
今期の売上単価DIは78.9で、前年同期と比べ2.0ポイント低下しました。

来期は、売上単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



今期の仕入単価DIは78.9で、前年同期と比べ21.1ポイント低下しました。

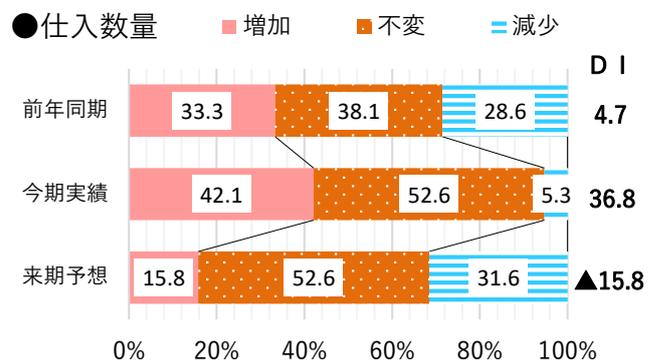
来期は、仕入単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

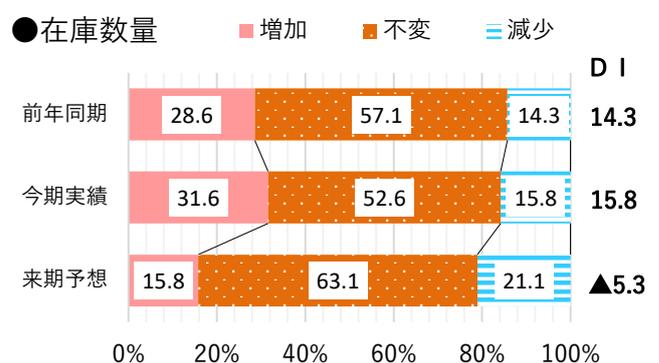
今期の仕入数量DIは36.8で、前年同期と比べ32.1ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、仕入数量が大幅に減少し、マイナスに転じると予想しています。



今期の在庫数量DIは15.8で、前年同期と比べ1.5ポイント上昇しました。

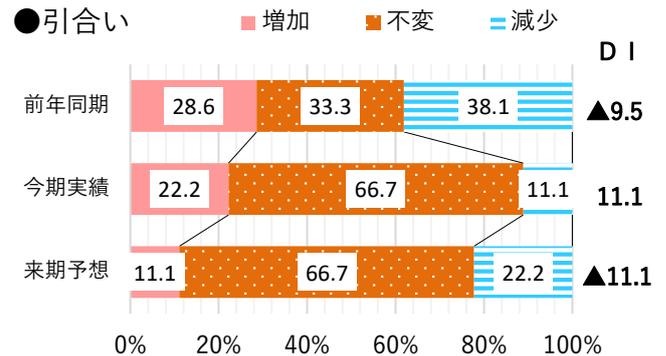
来期は、在庫数量がマイナスに転じると予想しています。



引合い

今期の引合いDIは11.1で、前年同期と比べ20.6ポイント上昇し、プラスに転じました。

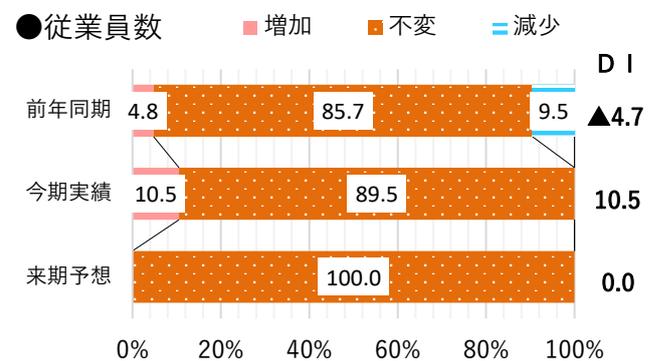
来期は、引合いが減少し、マイナスに転じると予想しています。



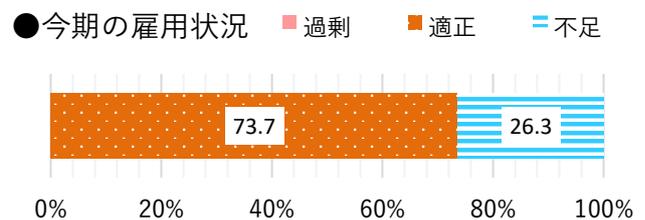
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは10.5で、前年同期と比べ15.2ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、従業員数の増加傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は73.7%、不足していると回答した企業の割合は26.3%でした。



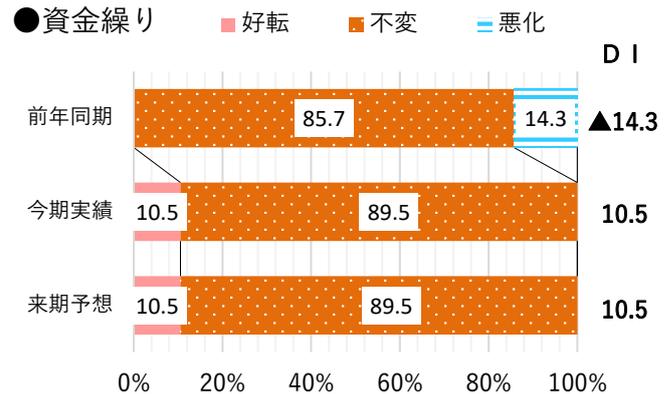
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の63.1%を占めており、不足と回答した企業は26.3%でした。

従業員数変化	雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	2
	不足	0
不変だった	過剰	0
	適正	12
	不足	5
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	0

資金繰り、設備投資

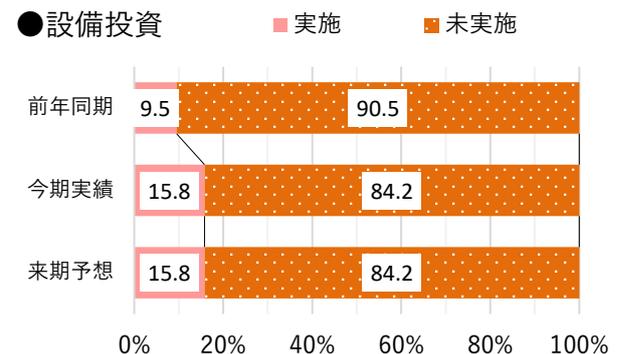
今期の資金繰りDIは10.5で、前年同期と比べ24.8ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、資金繰りの横ばいを予想しています。



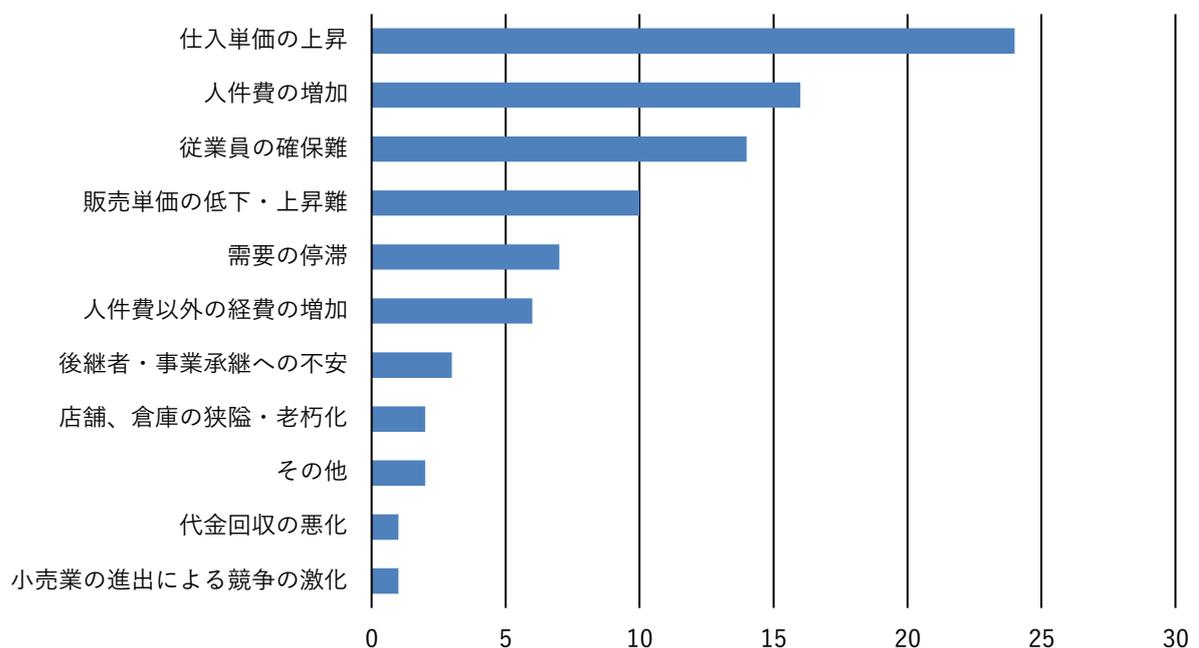
設備投資を実施した企業の割合は15.8%で、前年同期と比べ6.3%上昇しました。投資内容は1位が「土地」、「店舗」、「倉庫」、「車両運搬具」、「その他」(同位)でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は15.8%で、横ばいを予想しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「人件費の増加」、3位が「従業員の確保難」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- コロナ禍での取り組みが実り、業況は好転したが人手不足の状況にある。パート等の賃金は時給1,000円～1,100円程度としている。(食料・飲料)
- パートの賃金は1,200円以上を支給している。(食料・飲料)
- 昨年の状況と変わらない。(食料・飲料)
- 天候や気候に左右される。冬期用品は特にその傾向が強い。部品商が少なくなり、札幌の企業との競争が激化している。(自動車部品)
- 資材価格、物価の高騰等により新築物件は少なく、全体的に市況が冷え込んできている。例年に比べ見積りや引き合いが少なく、同業者も全体的に業況が落ち込んでいるようだ。(建築材料)
- 新幹線工事の物件が多く発注され、資材の納入量が増加した。(建築材料)
- 原油価格の高騰により、石油製品の節約傾向が顕著だと感じている。(石油)
- 特別物件があり前期の売上を超えたが、仕入価格の上昇分を転嫁しきれなかったため、粗利益が減少した。(鉱物・金属材料)
- 赤字にならない水準の売上を維持できた。特別賞与もなんとか支給できた。(産業用機械器具)

[来期の業況について]

- 販売単価を引き上げるため、引合いの減少が見込まれる。(食料・飲料)
- 冬期は毎年閑散期となる。業況は積雪量や時期に左右されると思う。(建築材料)
- 新幹線関連資材の納入量増加が続く。(建築材料)
- 原油価格は現在の水準で推移すると思われる。(石油)
- 様々な価格の高騰により、自社の販売量減少も確実だと思われる。価格転嫁も進まず、苦戦が予想される。(鉱物・金属材料)
- 道外の仕事があるので、業況の好転を見込む。(産業用機械器具)